

○御家族の意見

・行政の対応、施策一般に関すること

体調を崩すことも多く、学校を休むことも多い。入院も多い。まだ小さいので24時間付添もいる・物価も上がりお金も必要だが仕事を休まざるを得ない。特児だけでは正直たりぐるしい。難病などの子どもの病後児預かりなどあるとうれしい。または金銭的援助（入院保険みたいに1日幾らもらえとかあるといいと思う。病気になるると保健も入れないから。付添：本人の医療以外にもお金がかかる。地域の方などに病気の理解はとても難しい。新聞とか、県や町の広報などにコラムみたいに病気の説明とか、こんな病気があるとか載せるだけでも広い方に情報が行くとかと思います・

市、町、村で決められている事は違いがあると思うのですが、以前町営に住んでいましたが、重度の障害者がいる家庭での引越は大変でした。収入により家賃高額になり出ました。在宅酸素の機械とか身障の手帳の変更なかなか大変でした。恨み節ではありませんが、障害者をひとくくりでまとめる案は、しょせん健常者が考える事です。それぞれ障害が違えば内容は変わります。ひとりひとりに合った障害福祉になってもらいたいです。※してもらいたいです。ひとりひとり障害が違います。してほしい事もひとりひとり違います。融通のきく行政サービスがあればいい。と思います。

公的補助を受ける際の手続きが複雑なため、簡素化して欲しい。受けられるサービス等、全体像が分からないため、ワンストップで案内して頂ける窓口対応できるようにして欲しい。

手続きが複雑

本人が幼少の頃は、今のような暖かい援助はなく、偏見と孤独で困っていましたが、おかげ様で普段の生活は何とかできる形になっています。ただ、聴覚障害軽減のための補聴器購入の補助制度が制約があり、ややこしく、行政の方の解釈に合理性がないのもっとわかりやすく広報していただきたい。

5~6年前のことですが本人が意識朦朧になり話すことも分からなくなり車で病院へ連れて行こうとしましたが、言うことも聞かなくなり両親も高齢で1人では対応できなく、役所の福祉の係に電話でお願いしましたが、できないと断られました。(来れない。) 障害者福祉制度、サービスの向上も重要ですが、障害者の人の困ったことに向き合い、寄り添う気持ちをもって行政の仕事をして頂くのが重要だと思います。

大学在学中に障がい者手帳を取得。手続きがたいへんでした。県ホームページの内容がまちがっていたり(様式等掲さいがないなど)、窓口対応が充分でなく、時間がたいへんかかりました。

親が認知症等になり、子供の様々な手続き(手帳の更新)が、滞ってしまうのではないかと、そのような時にどうしたらよいか、親せき関係も希薄であると、人とのつながりやサポートも受けにくく、とても不安になることがあります。そのような場合の手立てを教えてください活動や、情報提供が広く普及すればよいと思います。

今のところ、自己管理で大丈夫なので、行政の方はこれから先におこり得るかもしれないいろんな提案をしてほしい。

障がいの程度や様子など、どこまでの機関が把握するのか知りたい。家族以外(学校など)に様子を聞いたりすることはあるのか。もし聞いているならそれを本人に確認するのか?

周囲の偏見により人間不信になりました。行政に相談や病院に通ってましたが向上せず。家族もどうしたらいいのか頭を悩ませてばかりで、全く進展ないので、困り果て精神的にきついです。

一般的な健康診断の案内は町から毎年くるんですが、一般の人と同じ時には無理なんです。なので受けることができません。(ガン検診もです。)障害者だけの健診の日を設けていただけるといいなと思います。

もっと横のつながりをつくりたいが、情報提供や紹介など声をかけにくいので…。せめて窓口利用の際など行政の方から提供案内下されると嬉しい。ただでさえ、窓口に行くことも腰がひける(気分)なので。障害児をまた心の底から受け入れられていない部分がある…先々の不安がつきまとい…。

保育、医療、福祉とサービスを充実させるためにはお金が必要なのでしょうが日常の生活がもっと便利になるような方にお金を使って欲しい。公共交通が不便すぎる。

支援される家族が病気に成り本人も体調くずし同行支援の時とっさの支援の早さに驚くと同時に障害者福祉にとっても感謝しています。米子市
透析になり体調をよくくずしている。そのため仕事は、できない それでも金銭的な援助はない 障害者年金をもらうには、書類がややこしいからやめた方がいいと市役所に言われた。
身障者に対してはかなり援助が進んでいるが知的障害者への対応は進化がないように思う
田舎の県でも、福祉を充実させ、選択肢を増やしてよりよい暮らしができるようになってほしい。
今は手続等、親がやっていますが、子供が1人でやっていけるようにいろいろな手続の案内やサポートをしてほしい。
アンケートに答えるだけにしないで、実行行動してほしいです。
何も知識がない上に、本人ケアもしてやらなくてはならず、相談に行く時間を取ることもむずかしかったので、病院や市町村に総合的な相談を受けてくださる窓口があったら良いなと感じた。本人が当時、17才だったため、子ども向けのサービスも大人向けのサービスも受けられないことがあった。身長が大きかったため受けられないものもあった。(入浴サービス等)。市役所の窓口で申請を行う際、サービスによって担当者が変わり時間がかかった事、サービスごとに申請用紙(同じ様式のもの)を記入しなければならなかった。申請が通るまで何カ月もかかった。体に合った車イスを作ってやることができませんでした。健常者と違い相談や申請にかかる時間等が大きな負担になります。もっと簡単に手続きができれば良いと感じました。
どのようなサービスが利用できるのか分かりづらいです。手続きに時間がかかりすぎていると思う。
どういうサービスがあるのか、どうしたらそのサービスをりようできるのか分かりやすく教えてくれるところが欲しい。市役所でも課で別れるのではなく一括して困ったこと等(法律)が1つの手続きに行けば全て手続きが終了するような市役所内で連携したかを作してほしい。困ったこと等(法律)が気軽に相談できる所がほしい。鳥取県の中でも
福祉手当など、こちらから言わないと該当しているのかも言ってこない。手帳を発行しているなら、その人が何をうけられるか説明すべきと思う。「よりよい暮らしのために」は詳細不明で結局行政へ問い合わせないとさっぱりわかりません。有料です。身体障害とてんかんがあり、←8才の子供、市一境港市のファミリーサポートはうけられません。経済的に両親とも働かなければならぬため、見守りサービスがあると早朝、夕方たすかります。一人にするわけにはいかないのです。ヘルパーさんは、時間やできる事の限りがあり、見守りに使えません。ファミリーサポートの障害児版を考えて欲しいです。鳥取県は、就労支援事業所の開設数の制限があるそうですが、何故ですか？行く場所が少く学校を卒業してもどこもいっぱいだと困っている声をよくききます。制限をなくし、開設する意思のある事業所に道をつくり頑張ってもらいたい。
手続きを簡単にしてほしいです。ネット申請など
行政の手つづきが面倒なのと一つ一つが遅く(対応が)その間に家族も本人も精神的に弱っていきます。対応も手続きもじゅんそくをお願いできればと思います。
受けることができる行政の支援、サービスなど、知らないこともあるので、もっとわかりやすく教えてもらいたい。ホームページを見るなどでなく、文書で伝えてもらいたい。手続きも一度何かの申請をすれば、できる範囲で他のものも、まとめて申請できるようにしてほしい。
母子家庭なので私が亡くなった後に困ったことをきちんと口に出して言えるか心配です。日本の福祉サービスは何でも申請式なので、自ら言えない人は置き去りです。障害者の立場に立っているのはNPO法人、国や県や町は来る者のみ対応すればよいスタイルを改善しなければ本当に困っている人への支援はできないと思います。
行政の取組や福祉サービスがよくわからないので、もっとわかりやすくしてほしい。
世話をする人がいなくなってしまっから本人の生活がどのようなになるのか詳しく知りたい。
・支援の情報がない ・聞いても分からない人が窓口にいる ・仕事をしている家族(親)の為の放課後デイ

サービスが少なすぎて困っています。どうにか市の経営の施設が出来ませんか？又、誰に相談していいかも分からないです。(放課後デイサービスについて)

相談員さんに聞きたいことは、たくさんあるが具体的な情報を知っていない。誰に聞いていいのか分からない。(トライまわし)サービスはあっても空きがない。家族の気持ちをもっと知ってほしい。きれいごとのサービスはいらぬ。本人に最てきなサービスがされていない。

災害の時が心配。どういうサービスがあるか、そのサービスを利用できるか教えてほしい。市役所などに行けば、何回もみたいな感じで話されるから、自分達は分かっているから分かりやすくしてほしい！

色々な申請に保健所と市役所の往復が必要なのが手間です。

・子供がダウン症ですが、出生後にわかり、手続きやサービス等、何が必要で何ができるのか、全くわからず市役所に行きましたが、「今出来ることは何もない」と素っ気なく断られました。市では対応できないので県に聞くように言われて県に電話したこともありましたが、特にできることはないと言われました。障がい児の親も最初は初心者なので、そもそもどのような障がいなのかもわからず、最初は療育という言葉すら知らない状態で、何がわからないのかもわからなかったです。出産直後で体も回復しておらず、精神的ショックもかなり大きい中で、自力で情報を集めるしかないのは相当な負担です。傷つきやすい状態なので、市や県に拒否されたように感じてとても辛かったです。1年以上経ってから「よりよいくらしのために(冊子)」の存在を知り、せめてこの冊子を渡すだけでも、療育センターという施設があることだけでも出来たのではないかと、思いました。障がい者に、寄り添い、手を差し伸べる姿勢を持っていただけると有難いです。障がい者側が頑張る頑張る、傷ついて、我慢して、辛い思いをしてやっと暮らせるのではなく、手を差し伸べていただきたいです。

・将来に対する不安が大きいので、小さいうちから、就園・就学についてや、成人後のくらしの選択肢、成年後見人制度などの情報をこまめにもらえると嬉しいです。冊子や講演会など。

・現状、障がい者は「特別」で、「普通」の世界と分けられていると感じます。「特別な人は特別扱いしてあげる」というのではなく、障がい者をはじめ色々な人がいることが「普通」になってほしい。そのために、当事者ではなく障がい者等に関わりのない方、県民全体への情報発信、理解推進をもっともっと進めていただけると嬉しいです。

・普段、当事者の声を聞いてもらえる機会がないので、このようなアンケートをしていただけて嬉しいです。ありがとうございます。

精神障害者の家族がいます。一般就労したいのになかなかできません。最近、いろいろ相談窓口が増えたとは思いますが、制度がわかりにくいです。B型はここで相談してください。A型はここで。一般はここ。その行く先々で、障害のこととかを話さなくてはいけなくて、プライバシーは守られているのか不安になります。専門家が集まって協議することが良いことだというのはわかりますが、それが本当に当事者のためになっているのでしょうか？就職して自立して生活できることに重点をおいてほしいです。就労支援員だとか専門員だとかたくさん増えていますが、実際、障害者の就職率は上がったのでしょうか？実績が上がらなくても高い給料がもらえるのはおかしいと思います。もっと当事者のためになる仕組みをつくってください。B型はどうして賃金が少ないのですか？

もしも家族が精神障害者になって B 型で働くことになった時、精神障害者はここでくらいしか働けないんだよ。何年経ってもこれだけしか稼げないんだよ。とあなたは言えますか？精神障害者でもいろいろできることはあります。それぞれちがいます。十把一絡げにしないでください。高い給料をもらっている人にはいつまで経ってもわからないことかもしれませんが、いろいろいいましたが、是非改善をお願いします。

障害の状況確認などの申請書類などが複数あり、時間と手間がかかる。毎年同じことを報告提出するので、何か申請方法がわかりやすく簡潔になればいいと思う。